

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスアロハランド		
○保護者評価実施期間	R8年 4月 1日		～ R8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R8年 4月 1日		～ R8年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報共有(業務改善やこどもの様子についてなど)	各支援員に毎日こどもの様子を聞き取り、小さな様子の変化を毎日共有し、その時々に応じた支援の模索に努めている。毎朝ミーティングを行い、問題解決、業務を図っている。(ミーティングやケース会議時)	少しの変化にも気づける様に、こどもの関係の構築を行い安心した居場所になれる様にする。日々のこども達との会話を大切にしていく。
2	保護者との情報伝達	連絡ノート以外に送迎時に直接話しをしたり、電話で情報共有を行っている。その際にご家庭の様子や学校の様子など合わせて伺っている。	モニタリング時もそうですが、日々の様子を電話や送迎時に行い、ご家庭との連携を図れる様にしていきたい。
3	活動プログラムが固定化されない様にしている	毎月、日々のプログラムについて、こどもの状況に合わせて、協議を行っている。毎日の活動プログラムを設定している。	日々子どもたちの状況を把握しながら、考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもにわかりやすく構造化された環境	特性のある子どもや低学年の児童も多く、個別対応も多くなり、職員数、死角、目の行き届かない場合がある。(活動わかる場合なども)	と。状況に合わせた活動の提案を行う。小集団での見守りの強化。状況に合わせていける様に職員の個々のスキルアップ向上を図る。
2	事故防止について	奥の活動部屋から死角になる場所や段差もあるので注意が必要。	職員の配置を朝ミーティング時に打ち合わせを行い、細かく設定する。施設内の点検を強化する。
3	地域との交流	湯梨浜町のイベント出店などの交流の場はあるが、宇野の地域交流はなかなか出ていない。地域イベントや事業所イベントの交流がうすい。	事業所イベントや地域イベントにも積極的に参加する。